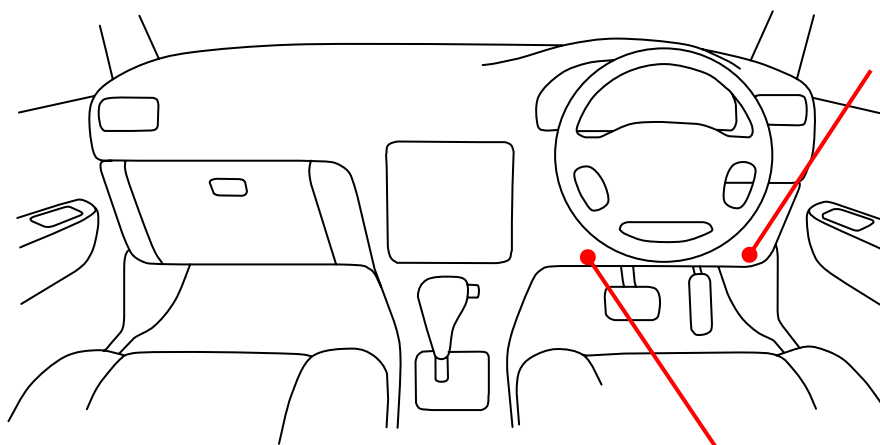


# オールインワンパッケージ専用モデル 車種別接続情報 AIC-0002 (1/6)

メーカー	マツダ	車体型式	HB25S
車種	キャロル (プッシュスタート装備車)	年式	H21.12~H25.3

- プッシュスタート無し車には、取付できません。
- ドアロック制御の取り付けはできません。  
エンジンスターターでのアイドリング中は、純正キーレスでのロック/アンロック操作ができません。  
車両に乗車する際は、一旦リモコン操作でエンジンを停止させてください。
- ターボタイマー機能は使用できません。(設定は OFF のままご使用ください)

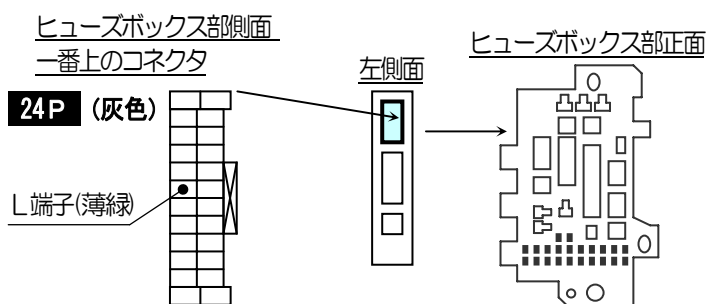


**接続先 1**  
(ヒューズボックス)  
メインハーネスを  
接続します。

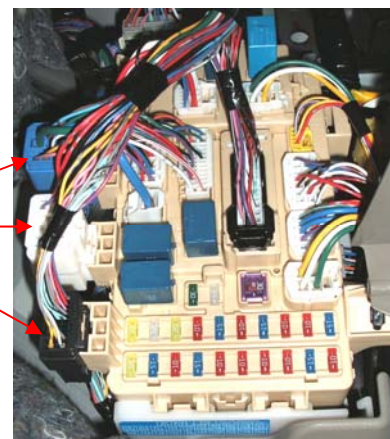
※S-117 同等品が  
付属されております

**接続先 2**  
(故障診断コネクタ)  
センサーハーネスから出ている  
緑線、橙線を接続します。

## < オルタネータ線を接続する場合 >

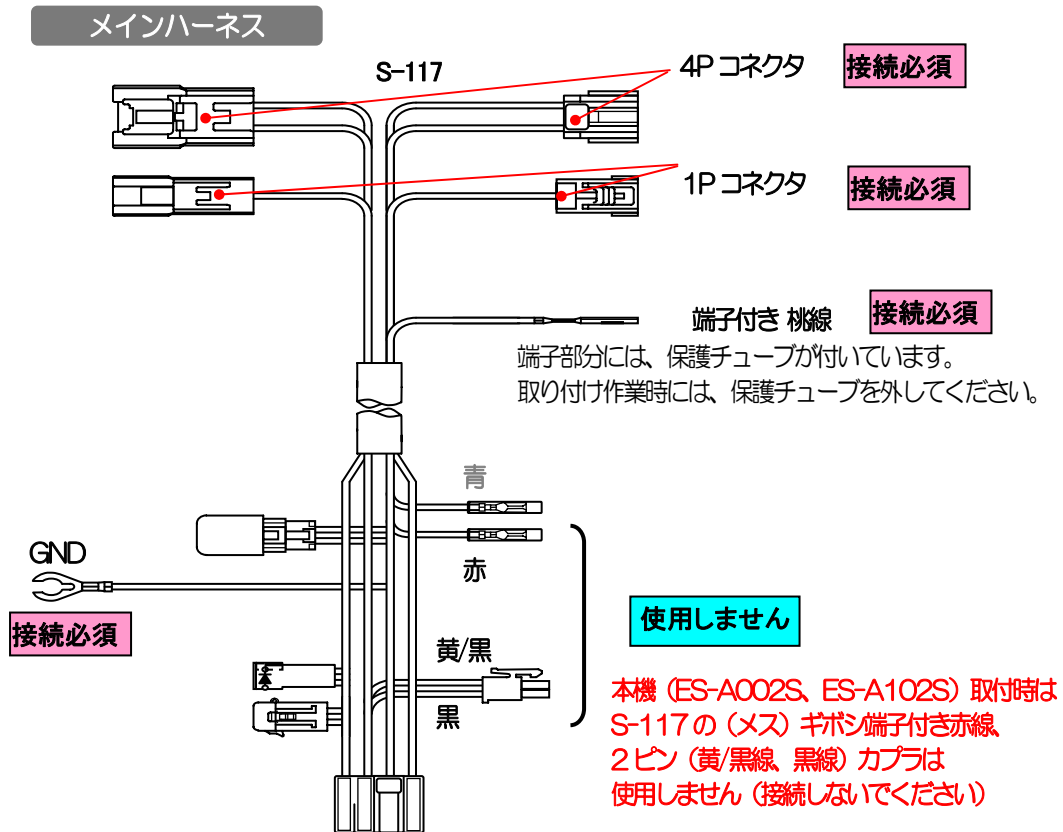


L端子を接続する場合、足元ヒューズボックス部 (エンジンムール側) に中継コネクタが3つ、ヒューズボックスに付いています。  
その中継ケーブルをヒューズボックスから外すと手を入れるスペースができて作業が行えます。  
なお、側面のコネクタを外す時、コネクタは直接目視できません。



メーカー	マツダ	車体型式	HB25S
車種	キャロル（プッシュスタート装備車）	年式	H21.12~H25.3

メインハーネスの接続



接続手順

S-117 の取り付け手順 (接続先は運転席足元ヒューズボックス部内となります)

- S-117 の 1P コネクタと 4P コネクタの接続
- S-117 の端子付き 桃色線の接続 の順に作業を行ってください。

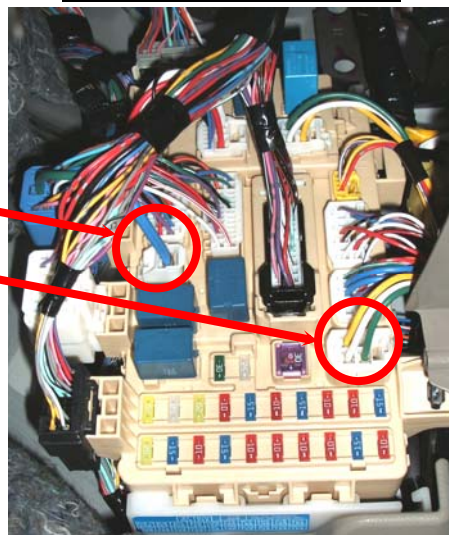
1. S-117 の 1P コネクタ、4P コネクタの接続について

S-117 1P コネクタ接続先

S-117 4P コネクタ接続先

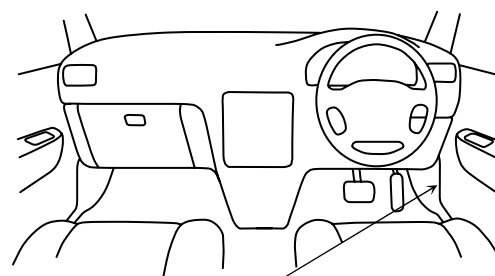
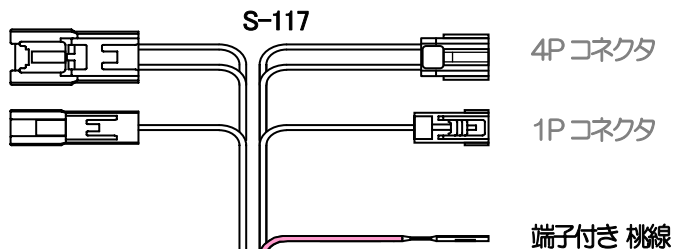
S-117 の 1P コネクタ、4P コネクタは、  
車両のコネクタを外し、間に割り込ませ  
接続します。

運転席足元のヒューズボックス部



メーカー	マツダ	車体型式	HB25S
車種	キャロル (プッシュスタート装備車)	年式	H21.12~H25.3

2. S-117の端子付き桃色線の接続について



運転席足元のヒューズボックス部

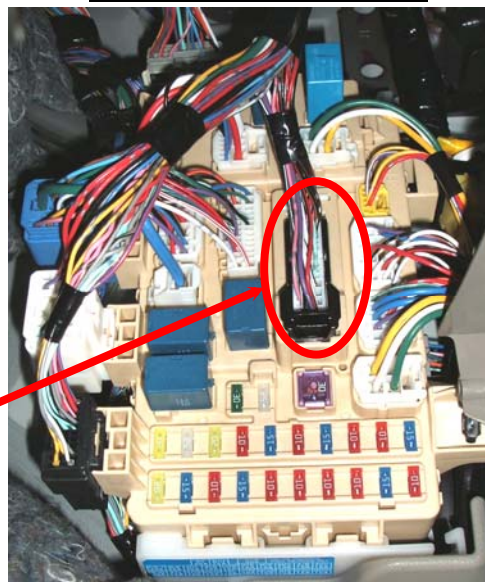
S-117 端子付き桃線の接続について

右記写真の (レバー付き) コネクタに配線を接続します。  
下記の手順でコネクタに配線を差し込む準備を行います。

作業手順

- レバーを引き起こし、コネクタを外す
- レバー部分をコネクタから外す
- コネクタ (側面) のリテーナーを浮かす
- S-117の端子付き桃線をコネクタに差し込む
- 外した手順と逆の手順で元に戻す

S-117 端子付き桃線の接続先  
(レバー付きコネクタ)

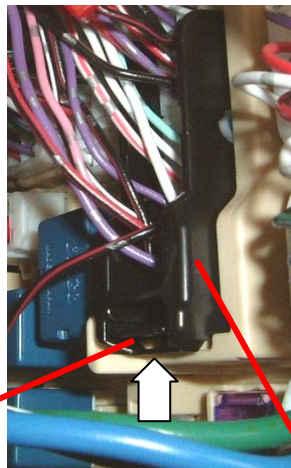


← エンジンルーム側

A. レバーを引き起こし、コネクタを外す

レバーのロックを (写真矢印の方向に) 外しながら、レバーを約45度まで起こします。  
コネクタをヒューズボックス部から取り外します

ロック



レバー

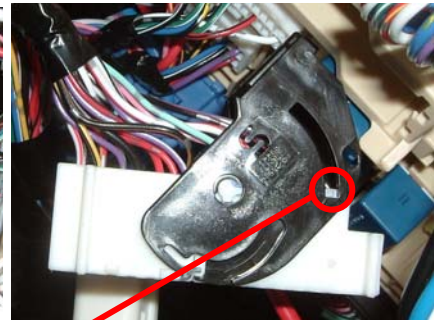
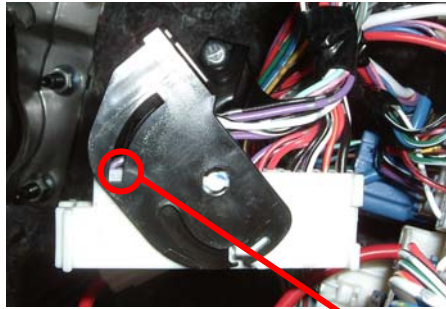


## オールインワンパッケージ専用モデル 車種別接続情報 AIC-0002 (4/6)

メーカー	マツダ	車体型式	HB25S
車種	キャロル（プッシュスタート装備車）	年式	H21.12～H25.3

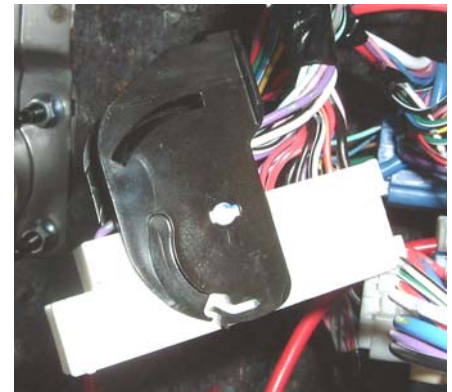
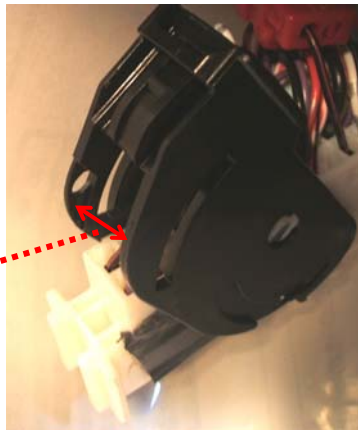
### B. レバー部分をコネクタから外す

レバーの両側を広げてツメを外しながら、レバーを約90度まで起こします。



ツメ（左右両面に有ります）

左右に広げる  
レバーの両側を広げてツメを外す。



約90度起きた状態

レバーを約90度まで起こしたら、レバーの側面（左右）にあるカギ穴とコネクタのツメを合わせ、コネクタからレバーを外します。



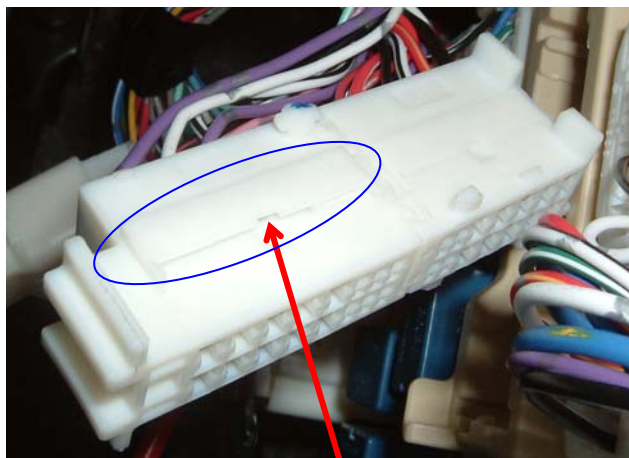
カギ穴

メーカー	マツダ	車体型式	HB25S
車種	キャロル（プッシュスタート装備車）	年式	H21.12～H25.3

### C. コネクタのリテナーを浮かす

コネクタ側面にあるリテナーに先の細い精密ドライバなどを押し当て、リテナーを浮かせます。

（リテナーを浮かせないとS-117の端子付き桃線がコネクタに差し込めません）



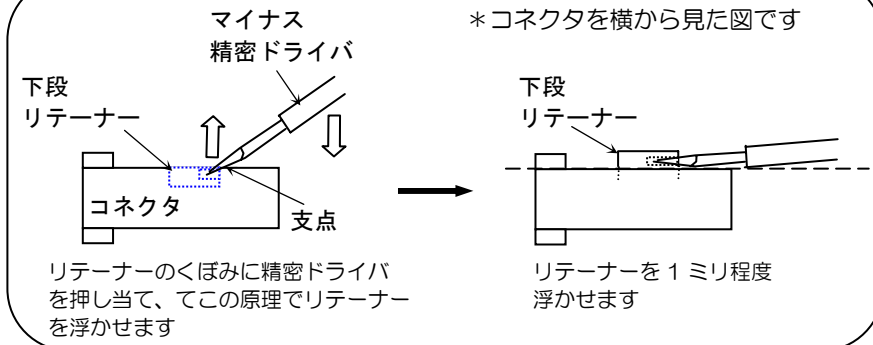
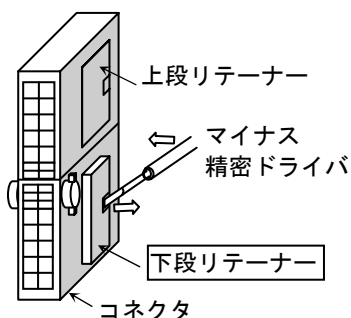
\*青丸部分 下段リテナー

この部分に精密ドライバなど先の細いものを押し当て、てこの原理でリテナーを浮かせます。（1ミリ程度浮くようにします）

#### <注意事項>

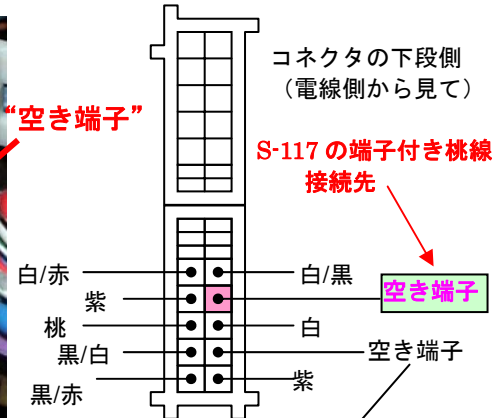
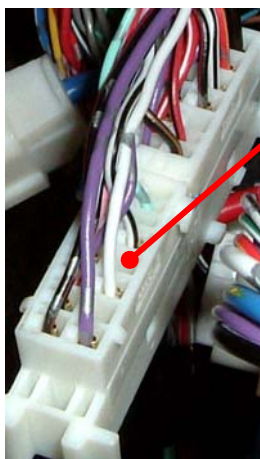
- ・無理に力を掛けしないでください。リテナーが破損する可能性があります。
- ・リテナーは本来、コネクタから外れません。コネクタから外れると元に戻りません。
- ・リテナーを引っ張らないでください。

#### リテナーの浮かせ方(てこの原理を使用した方法)



### D. S-117の端子付き桃線をコネクタに接続する

右の写真（空き端子）の場所にS-117の端子付き桃線を差し込みます。（端子付き桃線についている保護チューブを取り外してから差し込んでください）



車両装備品により配線の有無が異なる  
空き端子になっている場合、  
間違えないようご注意ください

#### S-117 端子付き桃線の接続

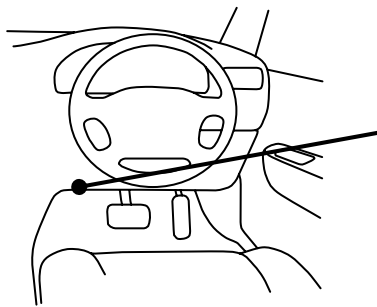
- ・端子位置、周りの配線色を確認し、確実に作業を行ってください。
- ・端子の向きが合っていないとコネクタに挿入できません。
- ・「カチッ」と音がするまで差し込みます。差し込んだ後、軽く引っ張り抜けないことを確認してください。

メーカー	マツダ	車体型式	HB25S
車種	キャロル（プッシュスタート装備車）	年式	H21.12~H25.3

E. 外した手順と逆の手順で元に戻す

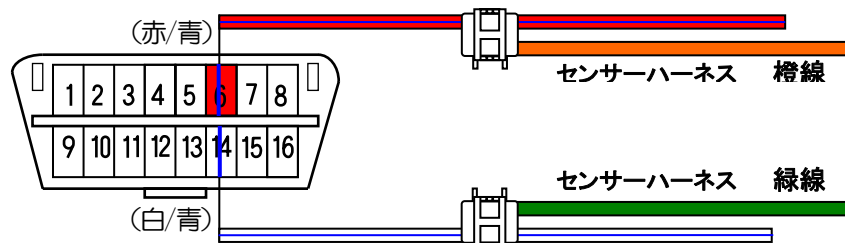
- ・リテナーを元に戻します。（浮かせたリテナーを押し込みます）  
→リテナーが元に戻らない場合、配線が奥まで差し込まれていません。
- ・コネクタにレバーを取り付けます。  
→取り外した手順と逆の手順でレバーを取り付けます。
- ・コネクタをヒューズボックスに取り付けます。  
→取り付け後、軽くコネクタを引っ張り確実に接続されていることを確認します。

センサーハーネス 緑線、橙線の接続



ステアリング左下に故障診断コネクタがあり、故障診断コネクタの通信線にセンサーハーネスの緑線、橙線を接続します。

故障診断コネクタ（接合面から見て）



全ての接続が終了したら、P・ポジション検出を行ってください。

※ P・ポジション設定を行うと、同時にイモビ ID も登録されます